

平成 30 年度 第 2 回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：平成 30 年 8 月 28 日（火）18:30～19:45

会 場：庁議室

参加者：名取 はにわ会長・本田 純副会長・北原 裕貴委員・各務 豊委員・多功 美千代委員・飯島 裕子委員・山本 まゆみ委員・森山 義雄委員・坂東 正樹委員

事務局：生活文化課長・男女共同参画係長・男女共同参画係員・男女平等推進センターコーディネーター

○議題

- (1) 平成 30 年度第 1 回 男女平等推進市民会議 会議要録（案）について
- (2) 東久留米市第 3 次男女平等推進プランの進捗状況評価について（平成 29 年度事業）
- (3) その他

・議題（1）平成 30 年度第 1 回 男女平等推進市民会議 会議要録（案）について

会 長：修正等の意見があれば 9 月 7 日までに事務局へ。

・議題（2）東久留米市第 3 次男女平等推進プランの進捗状況評価について（平成 29 年度事業）

会 長：事務局より説明を。

事務局：まず、今回送付した資料について、評価、提言事項などを確認いただきたい。本日は、進捗状況評価ワーキンググループ（以下 WG）の全体的な報告と担当課への確認事項について報告したい。その後、各 WG のリーダーから総括コメント、答申に向けたコメント、ヒアリングの有無などのご意見を伺いたい。今回は、初回ということもあり、経年比較が難しかったとの意見があった一方、見やすくなったとの意見もあった。また全体としては、相対的に評価が上がっているように感じた。課題としては、数値目標設定の難しさ、判断のしづらさがあったとの意見があった。

事務局：次に、担当課への確認事項について、聞き取りした結果を報告したい。はじめに、産業政策課事業(通番 2)。自己評価の理由を確認したところ、他市の状況と比較して決めたとのこと。数値目標の根拠については、外部専門機関との連携は増やしたいとの思いはあるが、29 年度実績、30 年度見込みから算出しているとのこと。通番 16、25 の事業についても同様であった。次に障害福祉課事業(通番 14)。わかき学園の取組状況について確認したところ、子育てと仕事の両立支援という取組の方向から考えると、発達相談事業が中心となるとのこと。例えば 1・3 歳児健診で相談を受けたり、障害児保育や通園施設について情報提供を行ったりしているとのこと。自己評価の理由については、療育施設としてフルタイムに対応でき

ておらず、ニーズを完全に満たしているわけではないとして厳しめに自己評価をしているということだった。数値目標の相談支援件数については、発達相談の延べ件数を記載しており、今後強化していく分野であるため次年度以降の目標値は実績値よりも上げているとのこと。同じく、障害福祉課(通番 57)の相談支援件数については、就職・就労に関わる相談件数で増加傾向にあるとのこと。現状、限界まで相談を受けており、30 年度以降の数値は横ばいとしている。一般就労の目標値については、希望者によるところもあり、現状に近い数値を入れているとのこと。次に健康課(通番 13)。「連携強化」の意味、具体例の確認を行ったところ、「強化」というより「引き続き維持していく」という意味であり、数値には連絡会議のほか個別ケースの情報共有も含まれているとのこと。自己評価が B になった理由は、対応がベストだと言い切れないからということだった。数値目標の相談件数については、母子、子育ての電話相談等の記録件数で延べ回数であるとのこと。最後に秘書広報課(通番 62)研修の受講人数について確認したところ、29 年度は新任担当者を対象に 1 日開催(2 回実施) で計 40 人であった。今後とも取り組みを継続していくことを確認している。

委員：企画調整課(通番 74)において、「プロジェクトチームを立ち上げる場合には男女平等の視点を取り入れるよう留意していたが、立ち上げは無かった。」となっているが、評価が B になっているのは、どのような判断なのだろうか。

事務局：確かに、取り組み状況としては、取り組んでいるとは言えないのではないかと、いうところはあると思う。

会長：数値目標について、実績値と目標値の区別が分かりづらい部分もあった。

事務局：記載の仕方については、答申時には整理していきたい。次年度については、目標値と実績値の両方を見られるような形が良いと思っている。

会長：各 WG から総括、コメントを。まず第 1 WG としては 2 点。相対評価が上がってきているという点と関係各課の並列記載方式が見やすかった点。

委員：第 2WG としては、各課も報告書を書き慣れてきたと感じた。また評価について、各自ははっきり基準を持たないといけないと感じた。

委員：第 3WG としては、取り組み状況の記載から読み解くのは難しかった。資料などと助かる。また、既存の事業の報告だけのようなものも見られた。最後に、各課に対して数値目標の記載について引き続き促してほしい。

委員：報告書は、細かく書かれていたが、全体的な方向を見失わないように鳥瞰的なものがあるとよいと思う。

委員：並列表記により、良い取り組みを取り出して評価しやすくなった。事業内容が書いてある評価作業用シートのようなものがあると、さらに作業しやすくなるのではないかと。

委員：担当課が努力している部分を成果として書けないと、評価してすくい上げることはできない。何もしていないようにとられてしまうことも。

委員：大体 A か B の評価になってしまう。B と C の間が相当空いているような印象を受けた。

会長：自己評価を厳しくつけるところもあれば、割と簡単に A をつけるところもある。本来、行間を見ながら評価しなければならないが、なかなか見にくいということは非常にあると思う。この議論が少しでも答申に反映できるようによろしく願いしたい。

事務局：今回新しいフォーマットで評価していただいたが、新規で入られた方もある中で、難しい点もあるようだったが、今回の結果も踏まえ、きちんとした評価が出るものを来年に向けて考えていければと考えている。

会長：次にヒアリングの実施についてお諮りしたい。

—— 実施することに決定。（企画調整課、財政課、防災防犯課） ——

会長：もうひとつ表彰の実施についてお諮りしたい。

—— 実施することに決定 ——

会長：その他、気になる点が 1 点あり発言させていただきたい。以前、庁内の女性活躍支援や市議会における女性議員の比率低下など、女性の活躍が進んでいないということが大きな問題とされていた。例えば、審議会で、様々な機関から宛て職で人を出してもらう際に、何もしないでいると男性ばかりになることがある。女性を送り出してもらうように働きかけるなどの努力をする余地があるのではないかと思う。庁内でももう少し頑張ってもらいたい。

・議題 (3) その他

事務局：前回の答申で庁内の男女共同参画推進協議会について、女性委員が一人もいないので対策が必要であるとの答申を頂いていたが、要綱を改正するということでまとめ、女性に委員を務めて頂く方向で進めている。進展があり次第報告できればと考えている。

○次回会議（ヒアリング）

10月中旬から下旬（日程調整）